

木育勉強会の開催(木使團／宮城県)

事業の目的

登米市地域において未利用の木材（主に製材時の端材など）が多くあるが、ほとんどがバイオマス利用となっていることから、これらの材を利用し、木育用おもちゃの開発や、木育ワークショップの開催について検討するための勉強会を開催するもの。

事業の内容

地域で木育に取り組む意義について、大阪教育大学の永富教授を講師に招きして勉強会を行った。単に木工工作をするのではなく、「1. 自然とのつながり」「2. 環境意識の向上と持続可能性の学び」「3. 創造力や技能の育成」「4. 心身の健康促進」「5. 地域社会とのつながり」などを意識しながら、木を活かし、森を生かすものづくりとしていく必要があることを改めて認識する機会となった。参加者からも、質問が沢山出され、今後、当地域で木育を進めていくためのキックオフ的な勉強会となった。

また、地域材を活用した木玉制作について、実演を行った。

参加人数

- 行政担当者（宮城県、登米市） 4名（男性3名、女性1名）
- 一般（30～70代） 6名（男性2名、女性4名）

活動の様子



木育に関心のある方が参加し、意見交換をしながら、勉強会を行った。



同左



木玉製造の実演の様子



木玉製造の様子と、出来上がった木玉